

【記入例】

(書式 M-5-1)



この同意書は必ず2部作成し、2部とも RIKEN BRC に郵送して下さい。
センター長印押印後、1部を返送いたします。

生物遺伝資源提供同意書 (第一種: 非営利機関による非営利学術研究のための使用)

機関名と研究責任者をご記入下さい。

バイオリソースセンター (以下
〇〇大学 △△学部 ××研究科 理研 太郎

は、理研 BRC が利用者にリソース

Micromonospora eburnea

(理研 BRC 微生物材料開発室固有番号 JCM No. 12345

として特定されるものであり、また由来する産物を含むものとする。
を提供するにあたり、次の事項に同意する。

提供を受ける微生物材料名(学名)をご記入下さい。下記「4」の提供条件が同じものは、複数株のご記入が可能です。スペースが足りない場合は「別紙添付」と記入し、別紙には「生物遺伝資源提供同意書 別紙」と題して学名および菌株番号を列挙下さい。

前述の微生物材料名に該当する JCM 番号をご記入下さい(別紙使用可)。

1. 理研 BRC は、ライフサイエンスの分野における研究
伝資源(バイオリソース)の提供を行っている。

2. ① 利用者は、本件リソースを、次の課題に利用する。

課題名: xxxx の系統分類学的研究および新種提唱。M. eburnea JCM 12345 と

比較研究を行い、xxxx を新種として提唱する。

② 利用者が、本件リソースを上記と大幅に異なる課題に利用するときは、事前に理研 BRC に連絡する。

3. 利用者は、本件リソースを、ヒト(治療、診断、飲食物、その他)に直接使用してはならない。

4. 利用者は、本件リソースの利用に当たって理研 BRC / JCM カタログ及びオンラインカタログに掲載されている次の条件を遵守する。

ご不明の場合は空欄のままで結構です。

尚、利用にあたって寄託者から事前に承諾を得ることが必要な場合は、利用者は本同意書の締結に先だって承諾書を用いて寄託者より承諾を得ること。

5. 利用者は、本件リソースを利用した研究結果等を発表する際は Materials and Methods 等に、本件リソースが文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクトを介して、理研 BRC から提供されたことを明示する。[英文例: ○○○○(リソース名) was provided by the RIKEN BRC through the National Bio-Resource Project of the MEXT, Japan.] また、利用者はその発表の情報を理研 BRC へ送付する。また、理研 BRC は、利用の状況及び成果等について利用者に報告を求めることができ、利用者は誠実に理研 BRC の求めに対して回答することとする。

6. 利用者は、本件リソースの提供にあたって発生する経費を負担する。

7. 本件リソースは、利用者と 2 項①記載の課題に携わる共同研究者が同一の課題の範囲内で利用することができる。ただし、利用者は本件リソースを第三者へ転売又は譲渡し、あるいは、上記以外の第三者に利用させることはできない。ここでいう「譲渡」とは知的財産権、実施権等の全ての権利の移動あるいは移転ないし引き渡しを含む。

